

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-125)、
廃棄物管理施設(100)、MOX 燃料加工施設(2-82))」
2. 日時：令和5年12月1日(金) 10時00分～12時10分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官小野安全審査
官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員
日本原燃株式会社
決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他5名
5. 要旨
(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年11月30
日の提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
・今後の進め方については、申請内容を類型して説明するにあたり、各説明
項目の関連性を踏まえて、順序立てて説明ができるように計画する。また、
1月以降の審査会合での説明内容を整理して、これに応じたスケジュール
を示す。
6. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和５年１１月３０日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	の業務を開始しました。それでは、
0:00:06	日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。本日のヒアリングは、令和4年12月20、
0:00:12	向けて申請のあった再処理施設、
0:00:15	やはり主幹施設野瀬
0:00:18	並びに令和5年2月28日付の、すいません。
0:00:22	について、昨日11月30日付で提出のあった資料をもとに、事実確認。
0:00:28	あります。
0:00:30	まず、規制庁側の出席者は本庁からスタッフ。
0:00:35	オノココヤマ
0:00:37	から、
0:00:38	このハバサキカミデシノヤマグチオオカオオハシ。
0:00:44	ハラ。
0:00:46	となります。それでは日本原燃から出席者の紹介と、資料の紹介をお願いいたします。
0:00:53	はい、日本例年事務局の中浜でございます。
0:00:56	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:00	ストリングチームより、
0:01:02	ケットク、
0:01:03	ハセガワ、
0:01:05	ノモト、
0:01:06	イシグロ、
0:01:07	タカヤ、
0:01:08	池原。
0:01:10	あと六ヶ所より、ボックス微細処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:16	本日ご確認いただきます資料でございますけど、昨日、先ほど紹介ございました、昨日提出しました、今後の進め方、こちらのご確認をいただきたいと思っております。
0:01:27	それでは説明の回収の方よろしくをお願いいたします。
0:01:31	はい、西原でございます。それでは、昨年、
0:01:36	形の資料でございますが、今後の進め方でございます。
0:01:40	まず前回、2ポツのところですね1月の審査会合の案件も含めて整理をしていきますと言ったのがまだちょっと追いついてませんので、継続して今整理をしています。

0:01:53	一つMOX説明グループに、やはりですね先ほど再処理の話じゃないですけど、絶対グループ1からチームがガラッと変わりました、パセリ対象になるので、そういう意味でちょっとベースを上げるのに、
0:02:06	時間を用意してる状況になってます。やっぱり経験値があるかないかで大分レベルが違うので、そういう意味で、12月中に何とかと思ってますけど、若干1月に割り込む可能性もあるので、そういうことを考えると、
0:02:21	1月の時もちょっと厳しいなという感じに今思っているところでございます。はい。ただ、
0:02:27	こういう状況で今作ってます。火災とか外傷の特徴ってこういうのがありますみたいな説明は少なくとも1月でできるとかですね、何かやり方を考えたいと思います。はい。
0:02:38	やること自体のベースは、今回やったグループでも変わりはないと思ってますので、その辺の整理をして、何らか、説明できるベースは作りたいと思う。
0:02:50	後その後の方に書いてる一部が、1月の地盤のアイテムなんですよ
0:02:57	はい。はい。
0:02:59	その辺もちょっと整理して次回にはちょっとイメージを説明できるようにしたいと思ってます。
0:03:06	はい。あとは12月にある最初の説明グループ1の構造設計等の対応状況という説明の時のやりとりも踏まえて1月何らか、やるかどうかっていうところもあるかなと思いますけど。
0:03:18	その辺は、
0:03:21	正直今の機能を出したやつも、まさしく並行して設計項目の整理とかをやってるやつが完全にフィードバックかけられてない状況なのでそういったフィードバックも含めてやってイクタマを、
0:03:34	状況としてどんどんご説明していくと。
0:03:37	何を論点としてやんなきゃいけないかってところを、クローズアップしていくのかなと思いつつも、
0:03:44	その辺のやりとりもちょっと明確にして、ご説明できるようにはしたいと思ってます。
0:03:50	はい。
0:03:53	それが2ポツでございます。3ポツ1のところの、共通に関するところは、
0:04:00	直近のスケジュールを反映してと言いつつも並行して今、私昨日もヒアリングやらせたりいただいたりしますので、
0:04:08	現状から行きますと、いつ、例えば、

0:04:12	SAのやつをやらしていただいたやつも、うち開始を今、1ページの
0:04:17	7型の二つ下から二つ目。
0:04:23	SAを踏まえた、全条文の整理というのは12月1日、12月5日ということ で示させていただいてますこれを、前は8条36条と分けていろいろと 整理してましたけどもある程度、
0:04:37	まとめて考え方も含めて整理をしてお出しをしようということで今整理を してます。
0:04:42	ただ若干ですね今手間取ってるのが、説明グループの表が、別添2共 通についてだと思うんですけど審査会合でお示したパワポの、
0:04:52	エヌ・ピー・シーさん。
0:04:53	隅角をかなり精緻にいっぱい作った結果ですね。
0:04:58	あんまり美しくない表ができ上がってるのだ一っと。
0:05:03	何だろうこの表っていうか、ちょっと見せ方を今ちょっと工夫しているところ で若干手間取っているところは、
0:05:09	はい。もうちょっと綺麗に見せられないから、
0:05:12	ということで一つは、もともと別添2をつけていたかつ条文ごとの隅括弧 のやつの一覧表をつけてたので、そこでちょっとグルーピングして、
0:05:22	隅括弧をこういうふうに示しますみたいな形にして、説明グループのやつ に戻すとかですね、もうちょっと工夫があればと思って今ちょっとやっ てますので、若干ちょっと明日出すには辛いな。強化磁器を出すには辛 いなってところなので、ちょっと1日2日。
0:05:36	も含めていただいて、頑張りたいと思ってます。
0:05:41	いうところですか。はい。
0:05:44	あとは、もう一つが、
0:05:47	2ページ目のSAの整理ですねこれも、
0:05:53	0点を上から二つ目、12月1日に、DBと設計項目の紐付け、
0:05:58	これも若干苦勞しているところです。
0:06:03	やりたいことは、一行の基本設計方針がBだといくつかに分かれていく んでその紐づけをするっていうことだけなんですけど、
0:06:13	フィードバックをかけなきゃいけないと思ってるのが昨日のあの階層の 整理をDB側でやろうとしたときに、
0:06:20	多分今ぐちゃぐちゃですよ。階層がうまくいかなくて、階層の整理をちょ っと元に戻してやった結果として、政府にもフィードバックしてあげない と。
0:06:30	SEがどこに矢印を指していいかがとても難しいなという。
0:06:34	気もしていて、その辺のちょっと整理も含めてやりたいと今、

0:06:38	思ってるところです。ちょっと平行した作業進んじゃってるんで、ちょっとうまくワークバランスを。
0:06:44	とりながらやろうと思ってますが、
0:06:47	SAやってるチームトビアスチームで、うまい具合に橋渡しをしながら、
0:06:52	交通整理をさせていただこうと思っておりますのでちょっと若干これも影響出さずになってないかなと言っているところです。
0:06:59	とはいえそんなに時間かけてもう作り上げた後にこれじゃ駄目だよねみたいな話も、もう1回ないので、来週の頭にはそこでもこういう形で作ろうと思っておりますのでサンプルをですねいくつかつけて、
0:07:11	提示をして、させていただこうと、5日ですかね4日月曜日、
0:07:16	4日ですね、4日月曜日にはちょっとお出しをして、ヒアリングでさまをご説明できるようにはしたいと思っております。
0:07:24	はい。
0:07:26	あとは、2-2の話はこの後、別紙、別添2以下でご説明をしたいと思います。はい。
0:07:34	引き続きまして3.の耐震関係の進め方のご説明でございます。
0:07:40	衛藤そうですね前回から変えていくところは丸一つ目の追加ボーリング調査によるデータ採取をするところとそれからやられたデータに基づく信頼で、すいません、分解分析を、
0:07:53	やって引間の飛田トラフ地盤構造の整備をやっていくというステップのお示しにつきまして、すいません0.02回会合説明資料案とタテサカタの修正をちょっと分けた形のスケジュールとしては、書いてはございますけれども、
0:08:12	1点となって進んでいくものだというふうには考えてございます。
0:08:15	次回ご説明資料案の方ですけども、先般のヒアリングでご確認いただきました骨子案、これちょっと我々の認識不足もございましてやはりちょっと記載のですね、考え方がちょっと整理されたというご指摘もいただいておりますので、
0:08:32	そこをちょっと改めました骨子案というのを、これを12月5日に再度廣瀬させていただきたいというふうには考えてございます。
0:08:41	ここにちょっとヒアリングをこれ、いつやるかというのを、記載はちょっとし、できていないんですけれども、できましたこれ12月5日ですねご提出、
0:08:52	ケースになるんですけれども、有効の16時だか16時半だかそこらぐらいから、少しお時間をですね、いただく形で、
0:09:02	ちょっと調整させていただけないかなというふうには考えているところでございます。

0:09:08	そこではですねヒアリングでの議論も踏まえまして次資料案といたしまして、体裁もある程度整えた場合ということとそれから追加調査データとしての岩盤物性、岩盤浸水、
0:09:24	のデータを完了したところを入れていくといったようなことをやったバージョンというところで12月7日に資料提出いたしましたして、豊岡のヒアリング
0:09:36	この
0:09:38	コメントいただいた内容を反映及び、それから表層物性の方のデータ反映と、岩盤物性ちょっと間に合ってなかった部分をここで追いかけると、
0:09:50	いった形でタカハシたものを、12月の様、12日に資料を提出差し上げて12月13日には考えてございます。
0:10:00	並行しまして、08の方ですけれども、岩盤部セト岩盤減衰の追加調査データ反映バーンこれにつきまして12月7日に資料提出いたしますんで、
0:10:13	無線の追っかけとそれから競争物性のデータを入れたものを、これを12月11日にご提出いたしましたして、両方の内容をご確認いただくヒアリングを12月10日に申し込ませさせていただいているところでございます。
0:10:30	ここの記載のご説明、以上でございます。
0:10:37	すいません、補足ですけど、今言われたスケジュール変更、また後のスケジュール表では、
0:10:44	反映されてなかったり、
0:10:46	ようですけど、
0:10:54	こちらに相談する前に、今こちらでも調整してもらわないという。はい。
0:11:01	はい。
0:11:04	それで先ほどの
0:11:06	合併し、
0:11:08	入力地震動の策定、次回審査会合の骨子案の、いつかりール話を、事務局の方と、こちらもちょうと調整した上で、まずちょうとお話をさせていただこうと思います。
0:11:20	はい。5日の案件の、
0:11:26	途中、4時ぐらいから入れるかどうかという、
0:11:29	それも多分こちらが5日にどういったことを言っていきたいのか。
0:11:34	どのぐらいやりとりかっているところにもあると思いますけど、
0:11:39	すみません、古作です。まさにその通りで、
0:11:46	最初に石原さんが言われたSAの関係とか、結構議論が必要な、

0:11:54	ポイントになるものなんですね。なのでちょっと時間の見積もりがとれない。
0:11:59	ですよ。
0:12:00	このスケジュール表上は午前午後ってなってますけど、当然こちらの都合があって午後からはしていたはずで、
0:12:09	それがなぜこうなって、
0:12:11	ているのかっていうのも、
0:12:14	1回話してあるところ何も相談なく、
0:12:18	増え、増えた形でまだヒアリングされてもですね。
0:12:23	調整がしにくいでしょうっていうことがあって、
0:12:30	その中でどうしようかなっていう。
0:12:32	そんなものですねで、現状5日に入ってるのはSAの関係等セツツ未明グループの鷺見加古の話みたいなことのほかに、
0:12:43	92の別添1っていう、これアノ小学校の整理、説明グループの整理結果ですねさっきパワポで、
0:12:52	共通要因ですね、わかりました。
0:12:59	そうそう。
0:13:01	大議論にはない。
0:13:04	それがどれぐらいの時間がかかり、
0:13:09	耐震の方がどれぐらい。
0:13:12	のもので、どれぐらい、どれぐらいに提出ができ、
0:13:16	リベート時間。
0:13:18	必要かと。
0:13:20	ということですけど。
0:13:26	まず半々に分けられます。そうですね、まず
0:13:29	正直申し上げますと先ほど1日に出してもらう場合、
0:13:33	一部、4日にスタートするのがいいので、
0:13:36	5日、前日に出して、その次の日っていう。
0:13:40	6日とバーター譲渡するかっていう。いや、ごめんなさい。それは止めなくてっていうのはそんな状況なのを後ろ倒しにしたいくない。なるほどじゃなくてももっと前もって1日でもいいからもう出せと。
0:13:55	言って4日2じゃやって、打ち返しのワンクッション入れようかぐらいのつもりでもいいところ。
0:14:02	と言ってももう1日強なので、
0:14:06	そこはもう1回、
0:14:08	もう統一カー。
0:14:11	浅井。なるべくっていうのを4日に提出いただいて5日に、

0:14:16	どんな資料であり、議論をしっかりとる。
0:14:20	必要があるかな。
0:14:22	でます。
0:14:23	といってもうさすがに午後フルに議論するだけの、
0:14:29	情報もないだろうし余裕がないと思うので、
0:14:34	まあ、あの前半それをやって、後半で耐震ということは、いや、今のそのメニューからするとあり得るかなと。
0:14:44	思うんですけど。
0:14:45	提出はいつなんですか。
0:14:47	提出、もうちょっと16点をオオモトとしてたんですけどもそれじゃいかんので、その15時ぐらいのご提出して、16時からのヒアリングという形にさせていただけたらというふうに考えてるところでございます。
0:15:00	はい。コサク。
0:15:02	わかりました。耐震班のメンバーはいかがですか。
0:15:08	カミテですけど構わないとかその1時間に、今どこまで正確さがあるかわかんないですけど、
0:15:18	何、一旦やっぱり5日でやっておかないとっていうところはあると思うんで、はい、大丈夫だと思います。
0:15:26	はい。
0:15:27	加来です。その整理できてるとか。
0:15:32	ええ。
0:15:35	藤華CIO。
0:15:38	一番最初に戻しますけど、
0:15:40	1月の会合、
0:15:43	なりその後っていうところ
0:15:47	昨日の今日でって言われましたけど本当はその前から要望しているので、
0:15:52	何だということではあるんですけど、
0:15:57	全体戦略そろそろ引いていただかないと、
0:16:02	何だ、
0:16:05	ここでコウ。
0:16:06	頑張っても入れてとか、
0:16:08	ていうのもあるんですね。
0:16:11	イメージ湧かないのですよ。
0:16:13	いつぐらいにそれ作ってもらえるんですかね。
0:16:17	アベハセガワです。全体戦略っていうのは共通、12側のっていう、
0:16:22	自分と関西から水木ですね。

0:16:26	認識はしてまして、
0:16:29	今回、まず共通 12 からいくと、
0:16:33	今回、グループ 1 を作った。
0:16:36	経験というか、スケジュールも踏まえて、
0:16:40	かかったマンパワーとかですね、あるんで、ちょっとこれ振り、まず振り 返りやろうと思っていて、
0:16:47	その上で、2 はちょっともう走り始めてますけども 3 以降、
0:16:52	どういうタイミングでいつ出せるのかっていうのは、ちょっとナカ
0:16:59	ちゃんと作らないといけないなってちょっと思ってます。
0:17:03	ちょっとそれをやった上で、1 回お示したいなど。
0:17:06	でます。
0:17:07	はい。コサクですけど、それを今日ぐらいまでにやって欲しかったなって いうのが仕事では私の感覚なんです。
0:17:18	グループ 1、一応、昨日、
0:17:23	出した。
0:17:25	ということで、
0:17:28	出すのに手一杯だったっていうことではあるとは思いますが、
0:17:32	そこまでに、いろいろと苦労して、
0:17:36	ガイドを作り展開をしてやって、
0:17:40	手でMOXの方もグループに、
0:17:43	展開を初めてということなので、
0:17:47	振り返って、今後ってイメージをするだけの情報は入手できているという ことだと思うので、
0:17:55	みんな議論してまとめるっていうところまでは無理かもしれないけど、
0:18:00	ヒアリングチームのそれぞれのメンバーとすれば、自分としてどういうふ うにできるかなとか、どういうふうにしたいなど。
0:18:07	いうイメージは持っていないと困る。
0:18:10	です。
0:18:11	持っていれば、おぼろげながらも、こういうふうについていうのを、少しは 話を、
0:18:19	できるようになるだろうし、そのニュアンスを、
0:18:22	この進め方日ヤノ資料にも表せていいんだらうと。
0:18:27	思ってるんですよ。
0:18:29	なので、
0:18:31	出した直後ではあるの。
0:18:33	今日、何か話がしたかった。
0:18:36	ということなんです。

0:18:39	無理に話してもしょうがないので、ですけど、
0:18:46	本当はつつ、今日といったところだから来週には十分ともありますね、
0:18:56	で、少なくとももう耐震のことを考えれば 12 月の会合 1 月の会合、
0:18:56	ていうところの進捗を踏まえて、
0:19:01	その断面でどこまでの話をするか。
0:19:04	ていうのは、しっかりと心づもりをして欲しい。
0:19:09	ということです。
0:19:12	先日の社長会見でも、
0:19:15	厳しいけど、数ヶ月だって言ってるわけで、数ヶ月って何だ。
0:19:23	規模がわからないんですヶ月っていう
0:19:27	て思いません。
0:19:30	ヤノ希望はわかりますよ、それぐらいで収まるような影響にしたいと。
0:19:36	それはわかりますけど、
0:19:40	ていうこともあるので、じゃあそれに対していつ打ち返しますかと、いや そうじゃなくて何とかその通りになりますかなんてもう、わかりませんけど。
0:19:50	あまりあの発言から時間を置き過ぎてもですね。
0:19:55	またよくわからなくなってくるんじゃないかな。
0:19:58	思うので、なので 12 月でどういうのか、1 月という
0:20:03	いう、
0:20:04	そこは元の市対外的な戦略ですけど、
0:20:10	いうのはあると思いますし我々としては新さあ、
0:20:15	の進め方としての、
0:20:18	考え、整理をしなければいけない。
0:20:20	いうところがあるので、
0:20:24	12 月の会合っていう意味でも、来週の進め方や、
0:20:29	とかで、
0:20:30	聞かなきゃいけないし、1 月に向けてっていうのも、来週軽く聞いた上で 再来週そんなぐらいで、クリアにしないと。
0:20:40	また、
0:20:41	年明け 1 月って言っても、結局 1 月になれば、今年とかな。
0:20:47	エンドウとかっていう区切りの中での見通しを、
0:20:50	整理しなければいけない。
0:20:52	我々の場合であれば 4 月の頭には進捗報告。
0:20:57	今、委員会するわけで、
0:20:59	その際に、もう 1 年ちょっと経ちましたけど、と。
0:21:05	ということがあり、

0:21:07	申請者は、確か今年度って言ってたよねって。
0:21:11	いう話があって、
0:21:13	何らか話をしないとですね。
0:21:18	泊、引き続いての、
0:21:20	進捗が見えない。
0:21:22	申請と。
0:21:23	レッテルを貼られてるわけです。
0:21:29	特にそこはしっかりと説明できるようにしなきゃいけないなと思ってるんです。
0:21:36	なのでちょっと言われた振り返りをですね、
0:21:43	これからというか、今日有吉来週、清伴でやっていただいて、
0:21:49	見通しを聞かせていただきたいと。で、
0:21:54	まず、共通 12 の資料 3 の範囲であれば、それです、ある程度、
0:22:01	進め方っていうのが、
0:22:03	見えるんだと。
0:22:04	ですね。
0:22:05	その上資料 4 の方は、まずこっかくを、
0:22:11	今日はあまりそこまで、何ですかねスケジュールまで見えるような形、スケジュールというか、ステップが見える形でと言っていたはずなんですけど、
0:22:21	見え、
0:22:22	出ないような気がしてですね、じゃそれいつやるのっていう、
0:22:30	のがあるんですけど、正確には耐震の動向を見ないと確定しないようなところもあって、
0:22:39	そこはペンディングにしつつ他でこういうふうに進められますっていうビジョンを今日出してくるのかなと思った。
0:22:46	ですけど、
0:22:48	ないのは何て言うんです。
0:22:51	はい。
0:22:58	ありました。
0:23:03	そうですね自治体のスケジュール感でどう進めていくかという所まで行かない。
0:23:08	21 ページとかに
0:23:10	次回の限り出す時に少なくともパターンそれぞれのナカノ代表性主として評価項目域がワンセット資料を付けますと書いてはいるんで、その中の一つが耐震のやつで、
0:23:23	どういう評価計算をするかっていう仕組みのところは、多分、

0:23:28	地盤の方待たなくてもできると。
0:23:31	そういうところは順次 2 回申請分とは言えと進めていきますっていうのは 1 考えはあるんですけど、
0:23:38	この辺の全体どういう罰があってどういうふうに進めていくんですかっていうところは、確かにイメージできてない。
0:23:47	書いていかなきゃいけないってところですね。はい。
0:23:50	はい。
0:23:53	21 ページGは類型の整理の入口でしかないんですね。このパターンの中に、どんなコンテンツが入ってくるんだっていうのをリストにしないといけないんですよ。
0:24:08	それを、そのリストの中でまとめられますっていうのがこれとこれとこれとこれとこれ、
0:24:14	資料 3 と同じですけど、ただ、この中にも枝葉がありまして、
0:24:20	ということがあって、マエダは一緒に説明されるということだと思いますけど、
0:24:32	パターンのナカノる。
0:24:34	さらに累計、
0:24:37	リストの中でまとめたものと、
0:24:39	いうところが、資料 3 との関係で、グループNo. 1 ダイトウするのか、その上で必要かと。
0:24:46	いうことを整理をいただくっていうことなんだと思う。
0:24:49	ていてですね。はい。
0:24:52	それで言うと、一番わかりやすいのは、資料 3 の方説明グループー井ワー外部衝撃、
0:25:02	ということからしたら、屋外機能、
0:25:06	評価、
0:25:07	をまず最初にやる。
0:25:10	耐震に影響しないところをまずやりたい。
0:25:16	と思います。最初の方を先にやりたいってのあるかもしれませんが、
0:25:20	と思えば、竜巻の貫通評価とか、
0:25:26	今日、おのずと、
0:25:28	何の障害も出てきます。
0:25:34	その次ワ一点灯なり、貫通じゃない
0:25:41	何ですかね、何評価でしたっけ。
0:25:44	はい。
0:25:45	破壊しないよっていう。
0:25:47	ミヤグチじゃなくて、裏面剥離もありますけど、

0:25:52	鉄骨がぶち上がった。
0:25:54	倒れませんかみたいな。
0:25:56	谷津とか、
0:25:59	対シーンに近くなってくるんですけど、
0:26:02	そこら辺はちょっと評価的には大きいので、
0:26:06	手をつけといた方がいいんじゃないかと。
0:26:10	いう。
0:26:11	プラス、これはもう、第1回で大体やってるからですけど、外部火災の話だったり、
0:26:18	いうところを第1回って、
0:26:21	説明済みですとかするかもしれないですけど、
0:26:24	整理をしていただいと。
0:26:28	いうことが
0:26:30	まずありで、その次に耐震をコウしてきますと、あったり、
0:26:36	あとは、そうですね系統機能としての性能評価みたいなところ。
0:26:43	が必要なものについては、
0:26:46	着手。
0:26:49	先行しててもおっしゃっても、
0:26:52	あとは同じパターンで、
0:26:55	いうことでもいいでしょうし、
0:26:58	いうことだと思うんですね。で、それでやってく等、資料3のグループ2が、
0:27:05	くれば、そのあと、溢水評価、
0:27:09	苦し葛西遅ればせ評価苦しいと。
0:27:12	いうことで物を順々に出していける。
0:27:16	いうことだと思うし、今後は代表例でさっさとやってしまえば、同じです。
0:27:21	違うときには違うものを枝葉で紹介します。
0:27:25	でもいいし、最後にまとめて、
0:27:28	それを網の出すタイミング。
0:27:31	によって、
0:27:33	埋めていくっていう
0:27:34	ゴトウができればですね。
0:27:41	隙間はなく、しっかりと、
0:27:44	対応していくっていうことができるんじゃないかな。
0:27:48	思うんですよ。はい。
0:27:50	というビジョンを

0:27:52	評価な項目をリストアップすることで刺さっと話ができるはずで、
0:27:58	そ令和来週になりますか。西田でございます。正直おっしゃっていただけることにいたしまして、今後は 22 ページ以降につけてリストあくまでも楠層なんです。
0:28:10	忙しいようにある程度はグループ最後まででき上がってるんで、このリストアップができて、かつ、資料 3 のどこのグループで何の条件が出てくるから、
0:28:21	どこのグループでやれるよねみたいなことまではできてるんですけど、同じパターンを最初 0 からちょっと作らないといけないので、はい。その全体像をまず書いて、どういう、
0:28:31	上がどういう順番でできるのかっていうのを整理をして、
0:28:36	してください。
0:28:38	はい、長田です。それで言うと
0:28:42	223 号ですか。はい。
0:28:47	これは
0:28:50	ストップというか、抽出したっていう。
0:28:54	段階の方で、でも、一応、真ん中の評価項目と、
0:29:00	もう、構造設計とかのインプットが、
0:29:04	これが御説明グループ。
0:29:06	設計ができるか、これと、
0:29:10	評価項目に対応したりグルーピングしたやつが出揃い、タイミングをみてどこでやりますかみたいな評価項目。
0:29:18	説明グループNo.
0:29:20	なんでこの番号なんだみたいなことは一応、儘田津曲にもつけてやっているとところは、もうちょっとやっぱ入りますけど、
0:29:27	考えております。
0:29:29	これ、このシートはですね、作業シートでありますので、これの
0:29:35	集約したものをアウトプットとして、1 枚作って欲しい。
0:29:42	ね。
0:29:44	はい、三浦でございます。はい。
0:29:48	最初、これそうですね。新策定後の形態でいくと、資料が別添でつくやつに着くのが、多分この 22 以降ね多分そのエッセンスを本体側に多分こういう考え方で整理をしますみたいのがいるんで、
0:30:01	おっしゃったイメージはそうだと思うのでそれは、順次作って、
0:30:05	こういう体系になったばかりしていきたい。
0:30:08	はい。

0:30:09	でもクフでそれやると、最初にでこうやればいいんだなというのが見えて、
0:30:18	この 22 行のシートのブラッシュアップが必要であっても、その上目として表現悪いな取りまとめのイメージとして、こんな方向になるのかなっていう。
0:30:31	完成イメージを作るということは、
0:30:35	最初にでもできるようになるんじゃないかなと。
0:30:38	思うんですよ。結果私がさっき言ったようなことになるんじゃないかなと思ってんですけど。
0:30:44	うん。そういうレベル 2、皆さん。
0:30:47	もう到達しておいて欲しい。
0:30:50	それがないとやっぱり、戦略立てられない。
0:30:55	はい。
0:30:56	ええ。
0:31:02	エーッー
0:31:07	12 月に資料 4 の関係はやらないことにした。
0:31:12	このセットで、7 日に、パターンごとの代表先生つけた上で、
0:31:20	資料 4 にほぼ織り込んで出しますので、それを元帳ややろうかなと思ってました。はい。
0:31:29	だから、今のスケジュール的な話は、
0:31:33	スケジュールというか、ステップ、
0:31:36	それぞれですね、考えます。はい。
0:31:40	最初の時ね。はい。補足です本来はやるって言ってたはずだったので今日出てくんじゃないのと思っていたっていうこと。はい。
0:31:49	なんですけど、なかったんでやるつもりなのかなと思うんですけど。
0:31:56	はい。
0:32:01	いずれにしてもですね、
0:32:04	再処理の説明グループ 1、
0:32:08	もう、
0:32:09	海田した上で、付出しがあり、1 月に対応するっていうこと。
0:32:16	になると思うんですね。
0:32:19	それなりに
0:32:22	思ったよりは、それなりに書き込んでこられたなという。
0:32:26	ことではあっても、
0:32:33	スケジュール感というかステップは免れないだろうなと。
0:32:36	思っていて、
0:32:38	だとする等資料 4 の関係も、大枠の方針、

0:32:45	考えを説明いただいたとしても、ある程度の検討事項は残り、
0:32:53	その進め方についてもコメントが残り、1月に改めて改めてというか、精査をして、より具体的に、
0:33:05	ということで説明をいただいて実際の説明に入っていく。
0:33:10	ということなのかなあと。
0:33:13	思いますので、
0:33:15	その実際の説明が1月からは入れるのかどうかというところちょっとあやしいと。
0:33:19	ますけど、
0:33:22	ステップは増えるんじゃないかな。
0:33:29	D、特に評価の方は
0:33:33	評価の説明をし始めないと、やっぱり資料3と同じようにですね、見通しているのを立てづらいたらうなと。
0:33:42	それに着手していただく。
0:33:46	で、
0:33:47	それが1月7日2月7日ですけど、
0:33:50	いずれにしても年度内にはある程度、何らか形にして、
0:33:57	トータルの作業っていうのを見積もれるように、
0:34:01	していただくと。
0:34:02	というのが必要じゃないかな。
0:34:05	で、皆さんの会社の立場からしたら、それをなるべく1月に、
0:34:12	やらないと1月末の社長が困る。
0:34:17	もう1月、12月末はもう勝手に困ってるっていう感じですけど。
0:34:25	そこは多分、
0:34:26	ヒトミ
0:34:30	実際にも耐震の方の、その規模っていうのが、12月では特定が技術的にできないので、
0:34:38	そこはしょうがないなっていうふうには思ってもらえる
0:34:43	から。
0:34:44	ただ、1月になると、それがある程度見えてくるにもかかわらず、相変わらず何網をかけてないっていうのは、会社として、
0:34:54	ね。
0:34:56	というので、あそこはなるべくクリアにしていけるように、今できることをしっかりやっていくと。
0:35:03	ということでお願いしたい。
0:35:13	はい。即興も踏まえて、来週早々でそれを相当、
0:35:18	各種どういうふうに進めていくつもりなのか、12月、1月ですね。

0:35:23	お話できればと思います。
0:35:25	原理ハセガワ承知しました。
0:35:28	来週我々議論してきますけども、
0:35:30	イスイ火災グループ続くんで、
0:35:34	シリーズっていうよりも、ある程度こうまとめて出していくとか、並行して議論が進むような、ちょっと何かそういうイメージを持ちながら、
0:35:46	リビジョン0を出し、
0:35:48	またこうフィードバックして、1にしてみたいな。
0:35:52	今そういうイメージを作ろうかなと今思ってます。
0:35:56	ちょっとこう、
0:35:58	市が固まってからに固まってくださいみたいなのうに、
0:36:02	衛藤ハセガワさんの言われる1、2っていうのは、市、
0:36:07	資料3のグループ1、2、3のはい。
0:36:12	そうです。はい。それはもともと溢水量もう手つけてるのと同じで、ずらしていくのは全然構わない。
0:36:24	加えて、
0:36:25	私と言われてたのは資料いろんな話かなと思って、
0:36:29	例えばMACCSグループには水なんていい水で言うと、
0:36:35	マンパワー的に無理なところはあるかもしれない
0:36:38	資料3が、
0:36:40	切りつかなくても、資料4着手したっていいんじゃないか。
0:36:45	というのはあってもいいと思うんです。
0:36:48	っていうのも、皆さん資料4やりたくてうずうずしてるわけですよ。
0:36:54	そうですか。そう。そう。
0:36:57	我々は資料4に入る上で、物としてはっきりしなきゃいけないこともあるよねっていうので資料3も言っているんだけど、
0:37:05	納得がいかない人もイマダいるんじゃないかなと。
0:37:09	思ってた、やってみれば、
0:37:13	資料やったらやっぱ構造分かんないできないじゃんっていう話、資料3を反映してよっていうふうになるんですよ。
0:37:21	実感するためには横に並んでてもいいかなと思って。
0:37:26	マンパワーがいるから、本当にできるのかと思いますけど、
0:37:30	資料3の方の作業がおざなりにならないんであれば、
0:37:34	そういう会もなくはないんです。
0:37:39	はい、わかりました。
0:37:51	それと、2ポツの会合の話という意味合いで一番治療したので
0:38:01	その意味だと、他に介護関係とかで行きたいといいますか。

0:38:07	規制庁オカです。2 ポツの今の資料 4 の方は再処理も含め、まずホームというふうに進めていくかということが概ね、
0:38:17	次回検討できるかなと思ったんですが、
0:38:20	12 月の会合で、説明グループの側、設営、
0:38:27	の整理って、結局どこまでやろうとしているのかっていうのが今回のそのスケジュール感で、少しまた
0:38:34	曖昧になっちゃってるのかなと思った次第なんですが、例えば、5 ページ目、通し 5 ページ目の、
0:38:43	今進めているDB設計項目と要求事項の整理の比図形が、12 月の会合後も、
0:38:52	当グループ 1、
0:38:55	最初にもグループ 1 なんかもどんどんどんどんこう、
0:38:58	蓄積されていっていて、
0:39:00	橋田委員。
0:39:02	どこまでやろうとしているのかというところを少し教えていただきます。
0:39:07	はい。
0:39:10	コサクですけど、
0:39:12	図の、
0:39:15	真ん中、
0:39:17	一番下になる前ですね。
0:39:19	いうところが、
0:39:21	12 月 1 日提出 5 日日ヤマト 12 月 1213 費用これは
0:39:27	審査会合に間に合わず。
0:39:30	ていう意味合いで無理くり書いたスケジュールだと思うんですけど、その下に 1 月中旬とか入ってきてるわけですよってことは 12 月は途中経過の紹介とつもりなんですけどね。
0:39:42	いうふうにまず思うわけです。
0:39:45	あと、主社長者には 1 月下旬というふうにもう、
0:39:50	12 月諦めました。僕もなるということであってということですね。はい。
0:39:55	2 番目のイシダでございますはい。
0:39:59	私もうまく整理できてないかもしれません。絶対右から延びてくるSAの整備、これも
0:40:06	今要求事項の整理をして、DDSSAの紐づけまでできれば角(ア)おおよそ紐付けができてくると思って総額として、かつ、
0:40:18	36 条以外のやつも含めて 8 条 36 条分以外も含めて、今日お出しする資料です括弧として抽出するものってのは多く、

0:40:28	できると思っておりますので、そういう意味でいくと、1日5日の日やで多く説明グループの設定の整理は完了するものだと思っております。
0:40:39	ちょっといろんなことを考え過ぎて、右から延ばしてはありますが、これ
0:40:45	何かフィードバックするものがあるかと思って書いてましたものの、直接説明グループの中にイセ反映するよというよりは、
0:40:53	資料1から3の方にフィードバックがかかるという部類かなと思いますんでその整理をもうちょっとして、
0:40:59	イメージがちゃんと伝わるようにしたいと思います。はい、規制庁からわかりましたじゃ何か、一応、
0:41:06	ちゃんと12月の会合で、グループ1に関しては最低でもフィードバックがかからないような状況にまでやった上で、その後も文字、何かあればってことで引っ張っていたというそういうことです。
0:41:19	はい。乳井ニシダでございます。はい。ちょっと示し方も、
0:41:23	中途半端でください。
0:41:26	規制庁甲斐です。あと、あと先ほど設計すべきじゃない説明すべき項目隅括弧の話で、
0:41:33	何か、
0:41:34	委員会しすぎてわかかわかりづらくなってしまったとおっしゃっていたんですが、もともとこの問題、これを整理しなきゃいけないって思った。
0:41:45	共通認識を持たれた理由は、その隅括弧の範囲がどこからどこまで説明しているのか何を説明しているのかってところを、
0:41:55	お互い共通認識を持つために何かに紐付けてやっていきましょうだったと思うので、分解したそのものが説明すべき項目として記載されることを望んでいるのではなくて、
0:42:08	その隅括弧の中に書かれたものが、何か別なものを見れば、ここからここまでのことを説明しているんだなということがわかるように整理してくださいだったと思う。
0:42:19	んですよ。はい。その辺の認識は、
0:42:24	偉い偉い分の、
0:42:26	昨日見せられてしまって、上のイメージはこうじゃないっていう。
0:42:30	私が今の状態ですね、おっしゃっていただいたように
0:42:33	修正した結果はないですか前にせ。
0:42:37	ほぼ別添の1ぐらいに各条文ごとに、
0:42:41	説明しないといけない項目混雑があります。抽出した結果を出して、それをある種、グルーピングなりして、結局これが説明すべき項目、トータルでこんなもんですみたいな話を、説明グループの表にフィードをかけるっていうやり方が多分、

0:42:56	一番やらなきゃいけないことかなと思ってます。今はどちらかという、各条文でキタノその桁とあれば当然美しくなるような、でき上がって説明グループ1だけで、
0:43:06	設計説明文の1で、7枚ぐらいのページになると、何やってんだかようわからん表になってしまうのでそこは理解はしてますので、本来示してできる形に持っていこうと思ってます。はい。
0:43:20	はい、規制庁からそこ、もしその分解されたまずは出されたら、ちょっとこちら確認が大変だなと思った次第です。はい。そちらで整理の方よろしくをお願いします。
0:43:30	以上です。
0:43:32	とコサクです。今の点で言うと、そのまとめる資料もどう作ったらいいのかなって感じがしてですね、グループ1は細かく、
0:43:43	作業しているので、
0:43:45	溢れるんですけどグループに行こうってそこまでやってないっすよね。
0:43:50	すると、
0:43:51	全体で示すんだけど、そのひょいグループ123と並べると、グループ23が、
0:43:59	何か、
0:44:01	最後の対策もないんじゃないって思うのか、ちゃんとやってないって思うのか、やっぱりモリイなっちゃうんですよ。
0:44:09	名の
0:44:13	資料。
0:44:16	その部分の資料は、もう特に介護に出すのはグループ1に関連する条文という。
0:44:24	ことに限定をして、
0:44:28	グループ1で説明するところで後続に振るところっていうのがどういうものかっていうのを明確にするっていう、
0:44:35	意味合いにさせていただいて、
0:44:38	した方がいいのかもなっていう、ちょっと。
0:44:41	はい。先ほど言ったんですけど、
0:44:45	感じました。その状況に応じて、整理いただければと思うんですけど。
0:44:53	先ほど言ったオカと同じですけど、アノニイズは、その仕分けの考えがああ文言では読めない。
0:45:01	いうことなだけだったので、別途の表で、
0:45:06	はっきりさせた上で、
0:45:10	グループ分けの表においては集約したい、要望で書いていただくというのは全然構わないと思って、

0:45:19	はい。
0:45:21	っていうところから、そのビジョンも、
0:45:24	配下提出いつかヒアリングします。はい。
0:45:31	他に介護関係ありますか。
0:45:36	よろしいですかね。介護関係と言いながら、3ポツの、
0:45:40	ところの話にも大分入ってはいるんですけど、
0:45:43	まず要求事項の整理なりSDの関係と、
0:45:49	いうことは今話をしたようなところで、
0:45:54	対応いただいて、
0:45:57	いうことかとは思いますが。
0:46:00	加えて何か話をしておきたいことがある人が、
0:46:11	はい。いいですかね。どうぞ。規制庁岡です。再処理側の乙の話で、昨日共通中にグループ1が出てきたんですが、
0:46:23	一緒に出てきた補足説明資料の扱いが、今回どこにも触れられてなくて、あれはどういうふうにヒアリング等で確認していく予定ですか。
0:46:35	はい、ありがとうございます。
0:46:37	鹿庭タシロオガセ
0:46:39	はい。
0:46:43	MOXの時お約束した0. オオクマムロイってなかったですけど、資料、特にさんとかですかね、を説明するとき、当然その根拠になる補足が、
0:46:54	セットであるのであればその補足も含めて説明をしていくという姿を考えてました。補足はそうなりきれてない人もいるかもしれませんがそこはどうしていきたいかも含めて、
0:47:07	多分説明が要るのかなというふうに思ってますはい。
0:47:11	はい、規制庁カセわかりましたじゃ、とりあえず来週、早々に共通中にも再処理グループ1のヒアリングがありますが、そのときに、説明の補足として、
0:47:23	そちら側で使用していくために、
0:47:26	使っていくということでまずは理解しました。
0:47:31	裏付けになったところ以上です。
0:47:35	コサクですけど。
0:47:42	そうです。
0:47:43	そうなるのですけど、余りにも雑というか、
0:47:48	この量を1日で終わりにするのとかと。
0:47:53	できるのか。
0:47:55	確認時間が何日あった。

0:48:00	感じがするんです。
0:48:02	なので、
0:48:05	このスケジュール表もですね、まず書いてないのはもっての外なんですけど、
0:48:09	書いて、どれだけ消化できる。
0:48:15	ように組めているのか。
0:48:17	というのは、ちゃんと考えていただきたい。
0:48:22	そもそもこれで十分なのかという精査をしてくださってという話を前からしていたはずで、思ったものを出してくださいなんて言ってないんですよね。
0:48:32	ええ。
0:48:34	それをしっかりするためにやってたのが 00 資料だった。
0:48:40	00 資料が上辺だったから、
0:48:43	説明すべき項目がしっかり。
0:48:47	何かできず、資料 3 ができなかった。
0:48:50	ということで今一生懸命、またプラスアルファしているということなので、
0:48:55	プラスアルファの作業をやったら、00 に戻るんだよね、今日の資料に書いてありますよね。
0:49:06	それをやらずして補足説明これで大丈夫ですってというのはいえるんですかね。
0:49:14	はい、西尾でございます。
0:49:19	まずは、
0:49:23	今、3 ページの方矢印しか書いてないですけど、これは個別補足説明資料ってのは 0 別紙 5 で、
0:49:31	添付書類の内容を見ながら抽出をして、電力を見ながら、追加がないかどうかやってきた。
0:49:38	結果が今補足として必要だと言ってエントリーしているものなんですけど、
0:49:43	実際資料 3 を作ってみて、いやこれじゃ根拠足りんよねってなれば、当然それが、添付書類の記載にもはねるし、
0:49:51	そうなると別紙 4 が直りで別紙 5 は、添付書類の内容を見ながら補足を抽出しているので、別紙 5 の修正にもなるというのは認識をします。
0:50:01	まず今の時点では、資料 3 の中で説明する設計項目を抽出してそれに対して何を説明するのかと、その根拠なるものが一体どんなものがあるのかっていうのを抽出した結果として今、
0:50:14	まだそこまで聞いてないし、本来やりたいのは説明アノ

0:50:19	個別補足説明資料の追加、どんなのが追加で必要かっていうのを資料 3 の中でしっかり抽出をしてくれと。
0:50:25	まずはですね。
0:50:26	その上で、最終的にそれで十分であれば資料 5 の方にフィードバックをかけていってそれが足りる足りないのまた議論の整理が必要だと。
0:50:34	ということだと思っておりますので、少なくともまず資料 3 の説明の中で個別補足トリップを説明しながら、いやいやこの項目でも補足要るでしょうという会話を、
0:50:45	していかないといけないかなというのがまず現状認識です。
0:50:49	はい。
0:50:50	しょうがないなと思うんで、
0:50:53	その点では、
0:50:56	昨日提出されたものは資料 3 の中でリンクが張られていて、
0:51:01	必要だと思うからつけて、必要になるように、
0:51:05	資料 3 を整理しているので出しましたということでもいいんですかね。はい。
0:51:10	はい。
0:51:10	はい。やっぱり、
0:51:13	確かにその 00 に入ってくるには資料 4 の関係での補足もあったりするので、完成にはならないですから順々に対応いただければいいんですけど、
0:51:25	かといって 00 の修正を
0:51:29	34 が終わってから、
0:51:31	やるってということだと。
0:51:36	議員。
0:51:37	西郷D。終わってから補正までのプロセスで半年かかりましたみたい。
0:51:43	なっちゃうと思うんですけど、そこら辺はどう考えてます。
0:51:47	はい、西田でございます。当然おっしゃっていただいているように、これも結局は、
0:51:55	例えばですけど、説明グループ 12345 といくつか分けたときに、どこにどの添付書類が絡むか。
0:52:04	という話も当然リンクが出てくるので、それも含めて、そのフェーズ、その添付書類とかに関係するものが、ある程度説明が終わった段階で、
0:52:14	データが資料の修正には当然入るというリンクージュになると思っております。

0:52:20	当然そこは、例えば僕それ言っちゃよくないかもしれない。僕御説明グループ 1 閉じ込めやりましたけど説明グループさんにも閉じ込めてくるんで、閉じ込めの添付って意味では、
0:52:30	説明グループ長の段階で直しながらも説明グループさんでフィニッシュしたら、再度必要であれば修正するみたいな、リンケージどんどんどんどん進めていくってのが、もともと考えてるスケジュールか全部終わってからやるっていうつもりは、
0:52:42	もともともないので、そういった感じで考えなきゃいけない。それが多分先ほど言われた全体のスケジュールを考えますかに多分きいてくるんだと思うんですけど、そういうビジョンではあります。
0:52:53	はい。補足です。
0:52:56	そうしていただかないと、
0:52:59	何だか。
0:53:02	どこかで、
0:53:04	アンダーグラウンドに潜った。
0:53:06	期間ができて周りから見て、何やってんだと。
0:53:09	何も説明できないって感じになっちゃうと思うので、よろしくお願いします。その進み具合とかも、
0:53:17	ある程度見えるようにしていただきたいなと思いますし、この 3 ページの、
0:53:24	これ、これ全体なので、
0:53:26	ここの動きとかを書くのはちょっと難しいところあると思いますけど、
0:53:32	少し考えて、或いは表で、南條角というフェーズとかっていう、いいのかもしれませんが、
0:53:41	進捗について、まだやっぱそうですね。
0:53:45	会合資料の進捗もちょうと違う場合かもしれませんけど、
0:53:51	はい。対応よろしくお願いいたします。
0:54:00	そっか、2-1。
0:54:02	地域関係いいですかね。
0:54:05	木瀬山口です。いいですね。ちょっと溢水の関係で、どこでいけばいいかって感じなんです。昨日、
0:54:15	ちょっと昨日やったのヒアリングを踏まえて、
0:54:18	プールの話とか、補足の説明四つあったと思うんですけど、そういうのも、
0:54:26	次の提出資料の 13 日の資料に入ってくると思えばいいですかね。
0:54:32	はい。日本原電の高井でございます。
0:54:36	整備項目の設計項目の整理として合わせて、

0:54:40	修正版を提出させていただきたいと思います。
0:54:44	じゃあちょっとこの 12 月 13 日、昨日のヒアリングを踏まえない段階での、
0:54:50	提出日とさせていただきましたのでちょっと社内でも調整をしてですね、きちんと理解を全体的さしてからですね、きちっと修正をした上で、
0:55:00	ご提出をさせていただきたいと思いますので、改めてちょっと日付は別途お示しさせていただきたい。
0:55:07	考え次第、
0:55:09	以上でございます。
0:55:12	はい。規制庁山口です。わかりました。
0:55:19	コサクですけど、
0:55:23	整理されるのは結構ではあるんですけどこれも結局、どう進めたいのっていうのは、ナイトウ、ただ単にずらしていくっていう、
0:55:32	のは、
0:55:34	大丈夫かなと心配になるところで、
0:55:36	というのも、昨日のは、昨日でしたっけ、の話で、すみません、
0:55:43	ちょっと話が後半になっていてですね、SAとDB、それぞれの話もあったし、設計と評価の話もあったし、
0:55:54	ということなので、どのタイミングでどういう話をしなきゃいけないのかっていう、交通整理も必要。
0:56:01	じゃないかなと思ってるんです。
0:56:03	そうすると、後でいいものを、悶々と悩んでしまって提出が遅れるっていうのは、ちょっと問題なくてですね。
0:56:13	昨日も、その意味だと、そもそもの論点、
0:56:18	とかをはっきりしましょうよっていう入口ちゃんとしましょうよっていうコメントだったので、
0:56:22	それこそあんまり時間かけずにぱぱっとやった方がいいんじゃないのと。
0:56:27	その上で、順番にこなしていく。
0:56:31	ていう、その順番カゴイできればいい。
0:56:35	その点でも整理をいただいて、
0:56:40	来週の進め方、13 日、
0:56:44	埋め立て費用話を聞くでも間に合うんですけど、
0:56:48	まあ、ちょっとまずと言ってもそれから資料の 9 再構成してっていうと、逆に 13 日にも間に合わなくなっちゃったりするから、
0:56:56	適宜、相談いただいて、
0:57:00	どういった形で、

0:57:02	というのは、
0:57:04	検討いただければと。
0:57:07	日本原燃の高井でございます。ありがとうございます。はい、承知いたしました。まさに論点をはっきりさせるというところで、ちょっと整理、
0:57:18	山口さん、よろしいですか。
0:57:22	はい。大丈夫です。終わります。
0:57:27	はい。
0:57:28	そうしますと2-2の話をするのか、ここでの3ポツ、
0:57:34	2の耐震の方の話をする。
0:57:38	サンポ次をさ、
0:57:41	はい、じゃあ、最新版の方から確認したいことあればどうぞ。
0:57:49	おカミデですけど、
0:57:53	とりあえずの5日の話とか先ほどしたので私からは
0:57:58	特段、これについてはないんですかほか耐震部から何かあればお願いします。
0:58:05	はい。ハバサキ、規制庁ハバサキですけども、
0:58:08	骨子については早めにとということで2月5日がいいんですが、資料案の方なんですけれども、12月7日資料提出で、追加調査データ反映云々と書かれてますけれども、
0:58:21	具体的に、あとその同じ資料の内容が12月10日、資料にもあるんですけど、まず12月7日資料提出。
0:58:31	の具体的な何ていうんすかね情報っていうのは今、どういうものをイメージされてるのか、口頭でいいんで説明できますか。例えば、
0:58:44	地盤剛性の4区分でいうと地盤剛性であったり、非線形であったりですね減衰はある程度出てるんですけど表層のパラメータであったりですね、そういう、
0:58:56	4区分の中ではこういう情報を追加時調査のデータとして準備をして、
0:59:03	準備してますっていう、そういう情報をちょっと今説明いただければ、
0:59:08	どうですか。よろしいですか。はい。玄野本でございます。まず、12月7日時点での
0:59:17	ご提出資料でのデータのステータスですけども、まず先ほどおっしゃっていただいたように減衰に関するS波検層これは全数入れる形を考えてございます。
0:59:30	表層補正については、これは
0:59:35	また入ってこない状態になってまして12月10日の停止のところで、入れようというふうに考えてございます。

0:59:42	で、岩盤物性ですけれども、これが一部を入れて、まだ積み残しが残るという状態になるというふうに考えてます。で、
0:59:53	諏訪県、すいません、PS検層のですね、もともとのDた。
1:00:01	もう整備のちょっと進捗に応じてですね、少なくともいくつかのグループについては瀬、
1:00:12	お示しできるので、こういう形で整理がされるんだよねというのをご覧いただけたらと思うんですけども、データをですね、ちょっとどこまで出せるかというのはまだちょっとこの時点の出来高ということになるかというふうに思っております。
1:00:25	ですねオーサ非線形性なんですけども、非線形性についての分析データっていうのは、これ岩盤物性のこのですね設定を
1:00:38	設定といいますか岩盤物性のデータをですね、整理しないと次にですね非線形性の具体的なですね、データというのは、もう一度評価し直す必要がございます。
1:00:50	ですので、データという観点では非線形
1:00:53	では、ここでは持ってこないというのがステータスになります。ただ、
1:00:59	他ですね状況踏まえて、大体ですね、データの見通しというのはお話できるかなというそういうステータスでございます。以上です。
1:01:11	はい。規制庁浜崎です。
1:01:14	ある程度、今の説明でわかったんですが、例えば岩盤物性については、12グループの既往の例えば地質柱状図であったり、PS検層のこの柱状図に対して追加情報、
1:01:27	どういう位置付けていますかどうい対応を示しているかというのが12グループでこう出てくるというイメージでいいですか。
1:01:34	ジノでございますはい。最終的にはそういう形になるかというふうに思っております。
1:01:39	はい。規制庁岡崎ですわかりましたそれともう1点なんですけども、データの信頼性ということで、
1:01:46	先般のヒアリングでも話をしましたけれども、隣接の話だと、
1:01:52	表層の影響のないことを確認しているという観点の、そういった結果についてもですね評価結果についても、この
1:02:03	資料案の中には盛り込まれているという認識でいいですか。
1:02:07	はい。全然ノモトでございます。はい。資料の中に盛り込みます。
1:02:12	はい。規制庁山崎です。理解しました。はい。私から以上です。
1:02:21	はい、古作です。
1:02:26	耐震関係は介護資料案。
1:02:29	等、

1:02:30	COSMO含めてですけど、という要は骨格を示すものと、
1:02:36	耐震建物 08、具体。
1:02:39	データを示すと。
1:02:41	いうことと二本立てになっていて、
1:02:44	前半は何となく納得感あるんですけど、11、12 辺りの、
1:02:52	スケジュールが逆転しててですね。
1:02:57	耐震性の 8 のヒアリング、
1:03:03	1 日ですて、
1:03:05	そのあと会合の資料が出てきてと。
1:03:09	というのは、
1:03:12	何かなあという。
1:03:17	もあるんですけど、
1:03:19	それはあれですかねプラスアルファ分だから、
1:03:24	耐震建物 0 はちいだけで、基本話が出てきて、
1:03:29	介護資料の方は、設備側の話。
1:03:35	と合わせて出したいので 1 日遅れてやりますと、そういうことなんで、
1:03:40	はい。現年ノモトでございます。ここで私考えてましたのが、最終的に今回で、お示しする内容は、
1:03:52	今の地盤のですねありようを考えた共通理解としての地盤の構造というのを、ある程度我々の見解を見させていただく場なんだと思うんですけどもそれは、データをもとに、こう考えましたということ、
1:04:05	ご説明しなくちゃいけないので、まずフローのデータをですね、本当はもっと早い時期にお示して、それに基づいて会合でもご説明しませんが一番綺麗だったんですけども、今平行になっちゃってますので、
1:04:17	少なくとも最後のその会合の資料をご提示するのを設置するまでには、データのフローをですねちょっとご説明する必要があるかというのでちょっとこんな
1:04:27	したというそういう頭作りで、これはスケジュールリングしております。
1:04:32	コサクです。それだけであればその前の週違うことやってるのに、
1:04:38	ここだけこだわってっていう気はするので、であれば会合資料だって、あわせて出して 10 日に合わせてヒアリングしちゃう方がいいんじゃないかっていうんですけど、
1:04:51	それはそれでどうなんですか。
1:04:57	それもアリだと思います。
1:05:00	08 と介護しようと、昨日やる講習もやったような感じで、

1:05:07	日本ケックそれも、あれだと思っんですがちょっとすいません、介護事業、もともとの設計で、8、13個、15の最終出すところの設計をちょっと守ったからそうってますので、そこは調整しろだと思っております。
1:05:21	古作です。わかりましたいずれにしろ
1:05:25	4日の
1:05:27	ヒアリングを、
1:05:28	踏まえないと、どれぐらいの作業量かっていうことはあると思うんです。
1:05:33	評価で判断して、それを踏まえて、その前に一番はいつ、5日でもう1回見てもらって、井岡に間に合わせて、またその8日をまた見てもらってということになる。
1:05:46	はい、わかりました。
1:05:53	そしたら、資料を、
1:05:58	資料4関係の、
1:06:00	部分が、
1:06:01	最終的なスケジュールは置いておいて、
1:06:06	じゃ、次。
1:06:20	うちは100条本文で書いても、プラス、5ページを、
1:06:25	今回まで、
1:06:26	伏見鉄道、最新の状態に直したという、
1:06:32	ございます。ちょっと先ほどご質問あった5ページの
1:06:35	共通要因の説明グループの設定のところと、SFの関係を整理をして、
1:06:41	明確に完成をしたい。
1:06:48	設定をやる前の話をした。
1:06:52	どっちがいいかな、前提にありますか、別添2、
1:07:02	ね。
1:07:03	なります。別添2でございますが
1:07:07	前回のやりとりも踏まえて整理を進めていまして、一つは、10ページのところでパターンを(1)から(3)までということで、
1:07:17	(2)の適合医療性能に係る説明の中に前回搬送設備の容量なんかを入れたんですけど、
1:07:24	ちょっと括弧に入れ理由は、レベル感が出ていることもあった。
1:07:28	お子さんに全部サンゴさんも全部込み込みだということで分類をしますということ。
1:07:34	あとは
1:07:37	資料をどういう構成にしたいかってそのあとの中、
1:07:44	1ページ以降で、評価パターンのAにあたるウエキ。

1:07:49	受けたらみたいに、その評価を、細かくまたブレイクをしながらかつ、項目を整理をして、
1:07:56	いますが、どちらかというと、
1:07:59	どういう資料の全体像にしたいかっていうのが、
1:08:04	21 ページですかね、全体最終的には
1:08:09	資料 4 の構成として下にある、
1:08:13	資料の 4 の(1)評価項目一覧表、ござりこれが今回で言う、先ほど最初にババも含めて考えなきゃいけないという、
1:08:23	言った 22 ページ以降の表ですね、これが別紙 1 にあったところの、
1:08:28	評価項目の評価方法評価条件等の設定の考え方ということで、評価パターンごとに整理をしていきましょうと思ってまして、それは、
1:08:40	ここで言う、言う次第についてるベース。
1:08:47	パターン、この前、すいません。
1:08:49	今評価パターンの(2)番の漏えい受け皿につけているような、それぞれのパーツの評価の考え方自体を整理をしていこう。
1:08:59	ということで、今 13 ページ以降ですが、表、資料 4 の(2)の条文ごとのシートがそれぞれでき上がるイメージで、
1:09:09	考えてます。
1:09:12	今、まだまだかなと思いつつも作っているが、評価項目一覧表、22 ページのやつが、先ほどちょっと冒頭の話が出ましたが、
1:09:23	前回から変えたところは、右から 2 番目、2 から 3 番目の列ですかね。
1:09:31	構造設計とかの内容がどの説明グループでどういう内容が出るかというと、それがインプットがされるタイミングの話と、
1:09:40	あとは評価として類似品がどこにあるかということを考えて評価項目の説明時期を決めましょうと。
1:09:47	いうこと。これ多分、全体の考え方がそもそも書いてないと個別の表になっているので、結局はどうしたいのかがよくわからんとかと思うので、そのエッセンスまとめて考え方を聞きたい。
1:09:58	これで微説明グループ 1 でやるのか、説明グループさんで全部あと上部 1 グループさんでやりますとかっていう考え方ができるかなと。これは
1:10:08	評価項目、適用技術の 1 に限らず全部抽出していけばその申請分全体が、
1:10:15	整理が終わるといふ。
1:10:18	再処理がどこまで、多分この項目が抽出し切れるかというところが、多分一つの全体像を示すための年かなと思いますけど、作業として大枠をまず攻めていくってということも含めてどういう段階でやっていくかは、
1:10:32	来週お示しできるように作成を考えたいと。

1:10:36	はい。
1:10:40	あとは具体のやつは、2、20、
1:10:43	先ほど言った13ページ以降の話と、評価項目の設定が26ページ、106ページ。
1:10:50	それぞれ耐震
1:10:52	Aであったり漏えい急であるアシダさんというのをどう整理していくかというのを書いてます。ここでもまた説明グループの設定どこの説明グループでやるかって書いてるのもあるので、この整数化の考え方として付して、
1:11:07	全体のまとめ表みたいのを作っていくのかなと。
1:11:10	考え方は整理していきたいと。
1:11:13	はい。
1:11:16	形としては、大枠のイメージは、整備つつあるかなと思うんですけど舞台になった時に
1:11:26	バラバラにならないかがちょっとまだ不安ではありますけど。はい。出ます。はい。
1:11:38	コサクです。そうですね。
1:11:44	何ですか。21ページのこの資料4の工程のイメージとして、
1:11:52	つけていただいたということなんですけど。
1:11:56	今のお話、このそれぞれのパーツが何を意味するのかというのが、
1:12:02	聞いて、ああそうなのって思うような、
1:12:06	感じなので、それをもう少し具体的にさせていただきたいんですけど。
1:12:13	ここで言ってる資料4(イ)、
1:12:18	この
1:12:23	資料4(1)、
1:12:25	の別添か。
1:12:26	はい。
1:12:28	まず(1)の一覧表って言ってるのがその次の22ページ以降だということのようなんですけど。
1:12:36	いきなりこれ妥当。
1:12:39	止め食らっちゃうので先ほど言った会合で出すような、集約したものをつけていただいてそのエビデンスっていう形に、
1:12:50	行っていただきたい。
1:12:52	ね。
1:12:53	で、
1:12:54	その上で別添って何なんですよ。
1:12:58	AMですね、別紙と言って、26ページ以降の、

1:13:02	評価パターンごとに、
1:13:05	添付書類の構成がどうなる。
1:13:08	どういう条件が、その評価は必要で、
1:13:12	続いて、
1:13:13	整理をして、それで、この説明グループ先さんでありますとかっていうベースの考え方が、それぞれ 1. が何がいつそれがいつのグループで出てくるかみたいな考え方を、
1:13:25	何となく書いてるふうになってるんですけど、これがまたわかりづらいので、もうちょっとわかりやすくしないとだと思ってますはい。
1:13:36	これは、
1:13:42	ん。
1:13:45	31 ページなんかと、
1:13:48	風量の評価をするのに関係する添付書類をいきなり軸にして書きちゃってるんで、
1:13:56	これがまたわかりづらくなるのかな。
1:13:59	思います。多分風量の算出をするために必要な条件って何とか、
1:14:04	そのために必要な設計項目でどんなのがあるのっていう、資料 3 との関係も含めた全体像があってそれがどの説明グループで出てくるよね、仕様表ってどんなのが関係するのみたいなそれぞれ、
1:14:16	ピックアップして書いてあげた方が、
1:14:18	ちょっと大分資料 4 の最終形を添付書類の構成とかに持っていこうとして大分前の方からそれを出し、出しちゃってるので、
1:14:26	それが説明がわかりにくくなる原因かなと思ってて、ちょっとやり方をもうちょっと考えようと思ってますはい。
1:14:32	はい。
1:14:34	わかりました。言われる通り、添付書類を忘れてください。
1:14:38	現状の添付書類を全部空っぽでさせるつもりなんで、
1:14:42	こんな施設ごと設備ごとなんていうのはもってのほか。
1:14:46	これを変えてきてること自体で、累計のことをまだわかってない。
1:14:53	分かってませんと宣言してください。ほんで、やめましょう。
1:14:59	今の説明の趣旨からしたらもう、先ほどの一覧表で十分ですよ。うん。そう思いますね。はい。
1:15:07	いうので、
1:15:09	上、一つ上のグレードを作り、ランク下げて、
1:15:12	あとは手元で、いろいろと悩むのにメモを作るのはこちらにどうぞ。
1:15:17	いうことにしていただいたらいいかと。
1:15:22	それで

1:15:26	21 ページ戻る等、それで別途置いて、(2)っていうのは何ですか。
1:15:33	が、
1:15:34	13 ページから今、十条の 0
1:15:38	機能は、
1:15:41	イノウエ防止に特化してます。このパッケージが、21 ページに、南條① みたいに書いてある、このシートに、
1:15:53	本ごめんなさい。そうすると、ここで 1、表紙目次のみです。わかりまし た。わかりました。
1:16:01	はい。そうすると、
1:16:07	ところ 21 ページの上で評価パターンごとにまとめますよっていうふうにな ってるじゃないですか。
1:16:13	ええ。
1:16:16	それって言ったときにどういう並びが一番美しいのかなあと。
1:16:20	思ったときに、耐震ドーンと言われたものくるっていうのが、
1:16:24	確かに再処理の場合はメインであるのでメインを言わずしてって言うか もしれないんですけど、
1:16:33	耐震は量が多くなるだろうなっていういろいろと、はい。パターンも出て くるだろうなと思うと、
1:16:43	ものとしてはやっぱりパターン 2 のやつが肝な。
1:16:46	本来ですね。
1:16:50	パターン 231 の順番でちょっと入れ替えていただいて、
1:16:56	の方が
1:16:59	頭でっかちにならず、
1:17:02	見やすい。
1:17:03	でき上がりの時になりやすいかなと思うので、
1:17:10	今の段階から、最初、大丈夫。
1:17:13	よろしくお願いします。
1:17:15	添付書類は先に来るんですかね。
1:17:21	はい。
1:17:25	そうするとー。
1:17:28	パターンの名前も少し、
1:17:30	うん。
1:17:31	ちゃんとこれ、
1:17:34	こういう何つうんすかね、現場レベルからの想像が付きやすいものだ と。
1:17:40	類型として、
1:17:42	その内容としてのっていう意味合いが少し違くなってきちゃうので、

1:17:48	はい。
1:17:49	危惧します。
1:17:51	性能的なところ。
1:18:01	これで、
1:18:08	マル。
1:18:10	1 とかって書いて具体の中身の構成なんですけど、
1:18:16	それが、
1:18:19	先ほど言われたところの、
1:18:23	3 ページ。
1:18:28	13 ページから、1 ポツ評価方法 2 ぽつとかっていう感じで来るんですけど、
1:18:37	まずですね、
1:18:39	1 ポツ評価方法っていうこと自体スタートがうまく切れないんですよ。
1:18:43	やっぱり概要とか、目的とかがはっきりしないと方法も何もわからない。
1:18:49	ですね。
1:18:50	かと言って分けていっぱい書いてもしょうがないので、概要っていうことにして、
1:18:57	評価プロセスまで含めた全体像を示すと。
1:19:01	いうふうにさせていただいたらいいかなとは思う。
1:19:06	はい。
1:19:08	何を評価したいかっていう。
1:19:11	話をした上で、その方法論を、
1:19:16	対象が何か。うん。はい。
1:19:19	はい。
1:19:21	特に今、この評価方法の記載ぶりは、また悪い添付書類を基にしてるからなんですけど、具体的過ぎて、
1:19:30	いきなり各論に入って、
1:19:33	だから、考え方をしっかりと、
1:19:36	いうこと。
1:19:37	特にここ欲張り必要なくて、この後ゆっくり、段階を追って説明するわけだから、
1:19:44	漏えい器受け皿の、
1:19:46	評価ってない。
1:19:48	ていう、資料 3 で整理をした要求事項だったり、
1:19:52	それを踏まえて、具体の数量として何が特定しなきゃいけないのかっていうところを、
1:19:58	書くっていうことだと。

1:20:00	はい。住民、
1:20:02	まず麻生です。
1:20:03	方針様は、
1:20:05	モリタも全量ちゃんと受けられるみたいなどっか外行ってないっていうのが多分目的なので、そういうことをやるんだっていうことをちゃんと説明すれば、そのあと多分繋がっていく、それが具体化されていくんだっていう、
1:20:18	はい。整理します。はい。お願いします。
1:20:21	それを踏まえてであるからこそ評価対象ってこういうのを評価しなきゃいけないよねっていうふうになると、
1:20:29	ということなのでこれもいきなり各論だっていうところ。
1:20:33	ます。
1:20:37	原燃の資料の
1:20:39	もう耳にたこなのであれでしょうけど、事実関係を書くじゃなくて理由とか、考え方を述べるんだ。
1:20:47	妥当性を説明するんだっていう。
1:20:50	ことを、
1:20:52	肝に銘じていただかないと、
1:20:55	全くもって理解できないんで、
1:20:58	一応ここまでおつき合いしたので再処理ってなんだろうとかかですね、どういう状況かというのがわかるので、
1:21:04	こういうこと言いたいんだろうなどは類推はできますけど、私が類推できてもしょうがないので、
1:21:10	社会の皆さんが見てわかるようにということをしてもらわないと、
1:21:15	いちいち説明が必要になると。
1:21:17	いうことになってしまうという、
1:21:22	はい、弓削西平でございます。はい。昨日も同じような話で恐縮でございます。はい。
1:21:29	そうですね。一番、
1:21:32	こうやりましたっていう、一生懸命する人が多いのが、現年度パターンだって、いや、なんでそれでいいかを説明してくれっていう。
1:21:41	はい。
1:21:42	井門文ではあるので、簡単に述べますけど、
1:21:48	15 ページのところは、実質具体に入ってくるのはしょうがないんですけど、
1:21:55	これも何でかって言ったところがしっかりと配慮して欲しくて、
1:22:01	例えばですね。
1:22:04	一つ目の、(1)の一つ目のポツ、公称値を設定設定する。

1:22:11	わかんないんすよね。
1:22:13	なんで、公称値って何っていうことがあるじゃないですか。交渉とって、中央値、プラマイで耕作者と最大値で書いて、黄砂上0にするとかっていう、
1:22:28	もの幾つかあるわけですよ。
1:22:31	これって何なのっていうところわかる記載にしないと。
1:22:35	これだと疑念を抱かせるんですね。
1:22:38	で、どういうことですかっていうことですけど最大値ですか。
1:22:48	安全。
1:22:49	多分じゃないと。
1:22:51	ニワはないです。
1:22:52	はい。
1:22:55	はい。
1:22:56	しかも、ようようの最大値書いてるのって実運用は当然低いところに設定をしているし、場合によっては
1:23:07	実際には入らないようなところもカウントした容量を設定していると。
1:23:11	いうことなはずなんですね。そうすると、用量設定環境、
1:23:16	がエビデンスになるんですよ。
1:23:21	そこでここまでカウントします。実際にはここには入りませんとかって、
1:23:26	言っていたり、
1:23:28	内部構造物あるんだけどそこも無視してポンとしますだったり、
1:23:33	していると思うので、そういったところをエビデンスとして貼りつけといてもらおうと。
1:23:39	そちらそちらはそちらでビジネス、設定根拠説明書とかにつくんであれば飛ばせばいいし、
1:23:46	いうところかと思います。
1:23:48	その次も同じですかね。
1:23:54	あと一番自分だったりなんなりって言ってるのも、なんでそれでいいのか。
1:23:59	その1バッチの切り換えのときにはこういうことをして、絶対にいかないのっていうことを、
1:24:05	なあとは思うんですけど、そういうことをちゃんと語ってもらわないと。
1:24:10	ことだと思います。
1:24:12	はい、三代でございます。はい。バッチごとにダムとですね、最初のパターンと、
1:24:18	あれですけど、

1:24:20	バッチが終わらないと次のものが入ってこないみたいな管理をしてるからみたいな、具体的れるパターンだと思うんで、そういうことがわかるように、はい。
1:24:28	記載ください。
1:24:29	はい。
1:24:30	衛藤。
1:24:32	ということではありつつ、
1:24:35	バッチ切り換えのときに、漏えい。
1:24:39	液受け皿からになってるの確認しますかとか、
1:24:43	どういう状況ですかねリセットがかかるのかどうかというようなことも、話としてはあると。
1:24:49	ですね。
1:24:50	ええ。
1:24:55	昨日のヒアリングでしたかね、ドレーンの計測の話とかもありましたけど、
1:25:03	ああいったところで、
1:25:07	実機がどういうふうな運用になる。
1:25:11	いうことはちゃんと明確に話をしてもらえなくて、それを踏まえてと。
1:25:16	いう。確かにそれで、
1:25:19	評価として保守的な、
1:25:22	ね。
1:25:23	わかる。
1:25:28	昨日は私も
1:25:31	皇室時代からですね、いろいろと、
1:25:34	情報を聞かせていただいているので、元の運用状況を、
1:25:41	考えしてるんですね。
1:25:44	なので想像がつくんですけど、
1:25:46	普通ではああいうのはわからないので、
1:25:50	多分、タカハシも、
1:25:53	あればいいと思うんですけど、
1:25:55	実はろとちょっと運用の仕方が違ってたりするところもあるんですよ。
1:26:00	なので、こうだろうなんて思い込まずに、ちゃんと聞いた方がいい。
1:26:10	あとは前も話しましたが、エビデンスどうつけていくか。
1:26:18	ていうので、
1:26:20	先ほどの容器の容量なんかは別に飛ばしてもいいよってなりましたけど、
1:26:24	そうでないものは、これに別紙なりなんなりをつけて説明するのかと。

1:26:30	いう構成もちょっと整理しております。
1:26:35	前回、
1:26:37	20 ページとかのそれぞれ、
1:26:39	書いてるコウも食うの意味がないと、その体積がどっから持ってきたのかよくわからんというのもあってそういったベッショのつけ方みたいなの。
1:26:50	はい。
1:26:51	はい。
1:26:53	先ほどの
1:26:55	コウじゃなくていいよって、一覧表の方でっていう感じになりましたけど、資料3の構造云々っていうことで、そういうものはそれぞれで、
1:27:05	付記しといてもらえばいいし、
1:27:07	さすがに一覧表に書いてあるんでこっちで書きませんだと。
1:27:11	追い切れないので、
1:27:14	ここにどこっていうのは、
1:27:18	一覧表に戻ってもいいんですけど、
1:27:22	資料3の構造図見てくださいとかってそういうシグナルは入れておいて欲しい。
1:27:31	はい、西田でございます。
1:27:33	おっしゃっていただいたように
1:27:36	50、
1:27:38	20 ページかっていう漏えい金融経済の縦寸法横寸法とか図面の番号を付してみてください。多分、
1:27:47	できるかなと思いつつ、とは言えない層がダイウの容積なんか多分、考え方、どこを見ればいいのか付してないと。
1:27:55	何のページ見てくださいって言われてもぱっと出てこないはずなんで、この辺は多分考え方と、どこを見ればいいのかっていうのがセットで多分別紙がないとわかりづらいかな。はい。
1:28:04	はい。はい。
1:28:08	うん。
1:28:09	コサクです。まさにそうで、
1:28:11	これは
1:28:14	やはり、概念は、
1:28:16	わかりやすく説明していただくにしてもエビデンスとして、
1:28:20	実際にこうやってますよ。だから、
1:28:23	いずれなんですよっていうのを示してもらわなきゃいけないと思いますし、
1:28:36	その時にその概念としてという時には、カウムの仕方、

1:28:40	そして保守的に見積もってるんですと。
1:28:43	いうゴトウであって、現状のこのポンチ絵だと、
1:28:47	事細かにしっかりと体積を測ってノミネートします。
1:28:51	ていうふうに見えるので、じゃあしっかり見ないとね一つ一つってなっちゃうんですよ。
1:28:58	なんじゃないんですがなくて、大体これだったらこういうカウントして保守的にもう削ろうっていう感じにしているはずですから、
1:29:07	算出の仕方っていうのを、
1:29:10	それぞれ説明してください。
1:29:13	今は何ですかね、補足説明資料に丸ごと投げようとしてない。
1:29:17	考え方をちゃんと書かないと、全部しようとする。
1:29:22	骨格は、
1:29:30	はい。
1:29:36	はい。
1:29:41	審査会合での説明のイメージも多分合わせて、
1:29:45	議会、
1:29:47	整理すね。はい。
1:29:53	はい。はい。
1:29:56	補足ですけど一応、
1:29:57	この後の作業ができるようにと思って丁寧に、こちらの希望をお伝えをしましたけど、
1:30:05	大丈夫ですか、イメージが湧きました。
1:30:09	ちょっと微妙かな。
1:30:15	うん。
1:30:17	MOXなり、先行でやるところが具体化し、
1:30:21	していけばですね、
1:30:23	こういう時にはこういうことしなきゃいけないんだっていうのは、よりクリアになっていくと。
1:30:28	思いますので、
1:30:30	これを溢水評価の説明書類どうしようかってまで消化しようとするんですね、やっぱりパターンが違うんで、はい。
1:30:39	違う呉パターンのものを一緒っていうのはそれは無理だから、
1:30:45	パーツパーツの時に考慮しなきゃいけないことっていうことぐらい認識されてれば、あとアノやりながら、
1:30:52	話できると思います。
1:31:01	今いただいた、
1:31:05	はい。

1:31:06	規制ジョーカーから、資料 4 関係。
1:31:10	何かありますカッチ。
1:31:11	規制庁下ですと先ほど、
1:31:14	の議論で、21 ページ目のところの、資料 4 の(2)の、
1:31:19	付け方のところで、
1:31:23	(1)を最後に持ってて、下 231 にするっておっしゃってましたけど私もちよっと気になってて私は 321 欲しいなと思ってたんですけど。
1:31:34	231 にする理由って何なんですか。うん。弓削ニシダです私もイメージは機能性能を示すって意味ではある程度骨格になるのが、
1:31:44	2 番目かなあと考えていて、その付随で、設定根拠の話が 2 番目に来て、一番多分、状態なりそんな耐震を一番最後っていう、どちらかという、2 と 3 は、
1:31:58	セットものに近いのかなってイメージだったので 231 の、
1:32:03	順番っていうのはありかなと思ってます。
1:32:05	はい。社長課長わかりました。それなりに考え方があって、あと、12 月 7 日提出。
1:32:12	ここに書いてあるものっていうのはこれは全部このグループ 1 で説明しようとしているもので強調されているとそういうことですよ。
1:32:21	はい。与儀ニシダでございます。アノですね。
1:32:29	はい。そうです。はい。
1:32:34	21 ページに書いてあるパターン、(2)の
1:32:40	2 番目のマルは、
1:32:41	グループ 1 でやろうと思ってます。グループ 3 になるだろうと思ったのが 10 条の①なんですけど、
1:32:48	ここまでずっと領域を受けた具体的いきなりなくなるのも辛いなと思って入れてますけど、これ、実際は説明のエキセットでグループさんです。
1:32:58	はい。はい。政調会長も私もその認識で、
1:33:03	受け皿でやってて、13 ページの方。
1:33:06	注意書きではい。
1:33:08	施設がいろいろセキも含めた、はい。
1:33:12	考え方にこの予定ってなっていて、
1:33:15	僕、ここで言うサンプル的に扱ってきたので、こちらもコウグループさんで説明するんだけど、
1:33:22	今のイメージをそろえるために、この二つを、当グループ、現時点でこう出すってそういうことです。そうです。はい。
1:33:30	はい規制庁カセわかりました。

1:33:32	ちょっと先ほど
1:33:36	もしかしたらなくなるの考え方が変わるのかもしれないんですけど、23 ページ目。
1:33:42	じゃないや、32 ページ名の、
1:33:46	これからどんなものが出てくるのかなっていう参考に考えていたんですが、23 条の 0 一位がグループ 1 で、
1:33:55	出されるっていうところで、
1:33:58	もっと言うと、具体的に換気風量、負圧維持等の等って、どこまで指してましたかこれ。
1:34:07	はい。読み 2 社でございます。はい。これにですね、
1:34:20	本体が、
1:34:22	一部含まれても、
1:34:25	ちょっとこれすいません私もどうあって、どうやって整理したっけな。
1:34:30	関係負圧維持。
1:34:33	ていうか普通維持等の頭には入っているのは、崩壊熱も一部入ります。それ以外に、換気の切り換えの回数とかそれ以外の
1:34:43	機器から音放熱の除去みたいな、部屋の間、感じてるとそういうのを考えなきゃいけないとか、いろんなパーツがあって、6 人しかなんか 5 人しかよくイシタ歯科の排気風量を設定するっていうような因子があった。
1:34:57	それを全部込みにして等って書いてるのが、等の意味合いです。
1:35:01	もうそれ全部だっていう、そのあとなお書きにもちょっとあるんですが、他のグループ、例えば上野崩壊熱なんかもグループさん。
1:35:11	はい。で説明されるんですが、この
1:35:14	この理由がちょっとわからなくてですね。
1:35:16	減り漏れ量の設定の考え方。
1:35:19	が、ティービーの構造設計と同様の考え方であるためって、
1:35:24	ここでなんでグループさん先に説明したグループさんを説明する前にグループ 1 でここをやっていいのかっていう理由ってもうちょっと何か、
1:35:33	説明いただけますはい。
1:35:35	もともとはグループ 1、3 にも、閉じ込め機能、グローブボックス、同等の閉じ込めの機能を有する設備みたいのが、
1:35:47	出てくるんですけど結局漏えい率をどう設定するか。
1:35:51	リークをどう設定するかっていう考え方は、説明グループ 1 でやっている設備で変わりませんよねと。結局後はその設備が持つてる体積の問題、
1:36:02	漏洩量の掛け合わせなので、考え方が統一であればそのリメンジョを、設計情報でインプットでギブンで与えてあげて説明はできるでしょうと。

1:36:11	実際の具体の炉、閉じ込めの設計はグループ 3 でやるけども、インプットの情報は、そこでテーブルに 1 回載せられるんじゃないかっていうふうな思いではいるんですけど、そこをもうちょっと具体的に、なぜかは、
1:36:25	説明をできるように書き手いただきいただきたいと思います。
1:36:29	はい。社長は河津 わかりました。ある程度一定の担保をとってやっていくっていうふうに、以前もおっしゃってましたので、その辺は理解しました。ちなみに、
1:36:39	グループ、
1:36:41	ボックスの説明グループさんを説明した後に、
1:36:46	辺の説明ってやっぱり必要になってくるとなると結構後の方で、
1:36:53	一定の担保取ったものが出てくるような印象を受けるんですが、一方で先ほどその資料 4 は別途、先行してもあるかもしれないみたいな、
1:37:02	おっしゃってました。その辺で、今どう考えられてます。
1:37:08	右ニシウラでございます。はい。
1:37:13	と、
1:37:16	説明グループ 1 の段階で、評価資料 4 をやる人たち、ただ、そのあとに出てくるギブンの情報を設計として説明するグループが、
1:37:27	パーツがいますよねっていうときにそれをどう整理していくかってのは考え方は先ほどの話で宿題として考えていきたいと思ってます。ただそれがある程度揺るがないという、
1:37:39	ベースの考え方がないと、結局戻ってくるやんていう話はちょっと余にもよくないので、
1:37:46	どこをどう考えてますかっていう、それは結局は先ほどの
1:37:50	漏えい器の欠損部分の評価じゃないですけど、一定の
1:37:56	保守性を持って評価してる部分の中に及ぶのかもしれない。その辺の考え方を整理をして、後戻りがないっていう担保は我々としては説明しないといけないと思う。
1:38:06	規制庁勝まさしくそこもちゃんとしっかり、このグループ 1 の段階でしっかり説明していただく必要があるのかなと思った次第でしたので、よろしくをお願いします。
1:38:17	あと、ちょっともう 1 点、16 ページ。
1:38:21	2、ちょっと前回も触れたところでしたが、
1:38:25	漏えい 9 座受け皿面積の、この辺の考え方、
1:38:30	前回事実とだけ書いてあったものが少し展開されていたんですが、一方でその次数のナンバーを使ったとかそういう情報がなくなったんですが、この辺、

1:38:41	字数との関係はどうなったんですか。はい、西田でございます。説明しない。
1:38:47	実際すみません先金とかいう話だったんですけど、実際にメーカーさんとも話をしまして、
1:38:54	字数をですね適用してる範囲が新しくなった時、変わっていて、グローボックスのたっぱなり大きさに合わない、リメンジョのものが適用範囲から外れてしまって、
1:39:06	ちっちゃいものしか相手にしないような形になってたので、要はその地主が新しいやつが適用できないと。
1:39:12	ということもあって、もともとあった1997年ナカナ文字数の、で考えてたものを、メーカーとしての政策、
1:39:24	要用じゃないですね、そういったものに反映してやっているのが実態です。
1:39:29	なのでそういったことも含めて実態を即して書くと、実施と書ききれないなっていうところが、成案に今今回外したということでございます。
1:39:37	はい、規制庁アカシJISの情報が、
1:39:42	開けなくなったから取ったということで、とりあえず理解しました。だからここはもうメーカーさんの考え方が今書かれているっていう状況なんですよ。
1:39:57	はい、規制庁河津 わかりました。私から以上です。
1:40:01	補足です。先ほどの、
1:40:03	成功して評価を説明する際に、後続でどうするかっていうことなんですけど、基本は、
1:40:14	お話あったように、しっかりと対応ができる。
1:40:19	設計方針として押さ枠取りができていてと。
1:40:23	いうことの話だとは思んですけど、
1:40:26	枠取りした場合、
1:40:29	この評価としては確かに保守的かもしれないけど、
1:40:33	実態としてちょっとずれてくるよねっていったことがあり得るんだと思うんですね。
1:40:39	特に関係ってば乱数で対応されるので、
1:40:45	それがどういう調整をするんだとか。
1:40:52	ほかに悪影響を及ぼすようなことはないとか、少しプラスアルファ考えなきゃいけないこともあるんじゃないのかなと。
1:41:00	思ってたして、
1:41:01	それを、
1:41:04	最初2つめって押さえると、

1:41:09	その後続一通り出てきたところでおさらいをするときに話をするのか。
1:41:14	何がいいのかなあというのをちょっと話を聞いて、
1:41:19	思うんです。どちらでもよくて、
1:41:22	もし前でやるとしても、
1:41:27	入ってますよねっていう念のための確認ぐらいのやつっていうのがあってもいいかなと思うと、
1:41:33	資料の構成としてですが、
1:41:36	後続のそのグループのときに、何も資料4つけないではなくて、
1:41:42	グループ、
1:41:43	資料4グループ1の、ここに同じですみたいな。
1:41:47	1枚紙を入れる。その時に、
1:41:52	枠に入ってるかだったり入っているけど、実態はこんだけずれがあってこうですよ。だったり、何らかその影響度合いというのがあるものは付記するようにしておけば、
1:42:04	漏れがなく対応できるかなっていう気はしたので、
1:42:09	はい、西田でございます。先ほど風量の場合はおっしゃっていて二分多分パターンがあると思って一つは、排風機にぶら下がってる先、
1:42:20	が福本天河それが説明グループ1で説明したグローブボックスみたいなチーム以外の方がぶら下がりますけど、
1:42:28	その設計ってどう担保しますかってところが、多分グループ4で5グループさんでももう一度、資料4をつけて、この中の関係性ですよっていう示し方をする。
1:42:38	という言葉だと思います。で、
1:42:40	もう一方アノ関係不良を設定するときに、先ほど六つとか五つとかイシイましたけど、その中に、崩壊熱も当然入っていて、やり方としては五つ内の因子の中でこのグローブボックスに必要な風量ってこれがあります。それぞれ決まった。
1:42:56	因子に対して風量を設定したときにチャンピオンを使って、風量は、このグローブボックスはこんだけの不良があります。
1:43:03	それを積み上げていってチャンピオン同士を組み合わせさせてさらにそれを上回る風量多分アノ9で設定しましょうみたいなのが、系統構成上の考えなんですけど、この中で崩壊熱除去に必要ないいし、
1:43:14	の不良は多分設定を、
1:43:17	してしまっているという、その時点では、ただその根拠は、崩壊熱の関係でこれが確かに崩壊熱除去できますよねみたいな話はグループ内でくるんで、

1:43:26	これが確かに粹取りとして正しいかみたいなのやつはどっちみちグループ3でもう1回説明しないとイケない。
1:43:31	いう関係性だったり、ただそういった全体像をちゃんと書いて、どういう関係になるかってのが、グループ1段階で示せているということが多分条件かなと思いますけど。はい。
1:43:43	ごめんなさい。グループさんの段階で、或いは資料4の、はい。
1:43:49	だから、資料3のグループ3の段階で資料4で振り返るっていうことはせずに、資料3で資料4。
1:43:58	に影響を与えないことをチェックをするということ等はしたいということですか。
1:44:04	でもグループ4、もう1回フルヤ資料4をもう1回振り返ってもできてない気がするの、つけても、
1:44:12	まあ、19市でやったのと同じです。ただこういうところを確認する必要がありますねっていう位置付けちょっと。はい。それも、はい。ちょっとやり方考えます。はい。
1:44:22	はい。コサクです。
1:44:24	まとまりがいいようにしていただければと。
1:44:28	資料4に1枚さす方がクリアかなと思ったんですけど。
1:44:32	いずれにしても資料3でもやることだして言われればその通りかなという気もするので、
1:44:37	はい、整理し、していただければ。
1:44:43	他よろしいですか。
1:44:49	あと、スケジュールが最後36ページ、37ページいつてまして、先ほどの、
1:44:58	案件は、
1:45:04	昨日やらしていただいた、
1:45:08	BSのインターフェースですけど、年内にもう一度やらせていただくという話をぜひしてまして、
1:45:15	すいません、オフと言われる。
1:45:18	21日の午後とかに、退任をさせていただくのでどうかと思ってたと。
1:45:25	はい。
1:45:26	ちょっとまたそれもスケジュールに落として、
1:45:32	こちらも
1:45:34	審査会合前は無理だよなど。
1:45:37	どちらにしても、準備も整わないだろうし僕らも余裕ないし、ということなので、それ以降かなあとって、

1:45:45	ていたので、こちらの他のアノ部門のメンバーもいるので、都合を確認した上で、
1:45:53	いただければと思います。場合によると、2122 駄目とかってなると、20 とかっていうことも、
1:46:00	あると思うので、
1:46:03	特に今回のタイミングは、その状況が共有できればいいかなと。
1:46:09	てますんで、よろしく。
1:46:15	はい。
1:46:21	はい。
1:46:22	自動です。
1:46:23	振替は、
1:46:25	すいません、規制庁カミデスケジュールで、
1:46:30	結局、今日、
1:46:33	出てくる予定の資料が 4 本あったと思うんですけどどうなるんでしたっけ。
1:46:45	はい、西田でございます。今日すべて 36 ページでいくと、SAの要求事項の整理後説明グループの設定の考え方と整理結果ですね。
1:46:56	また共通に別添 1、あとは、設計プロセスの話があります。
1:47:02	先ほど日付が、若干、月曜日にずれるっていう話をしたのは、一番最初のSAの要求事項の整理の話と、
1:47:13	別添 1 と言っている説明グループの設定の整理の表ですね。
1:47:21	これが 4 日にずれますと、
1:47:23	2 番目と 4 番目は、今日お出しをすることで今進めてました。はい。
1:47:38	赤嶺さんいいですか。
1:47:43	越冬
1:47:48	社長ですカミヤさん、尾関君。
1:47:54	中身ですすみませんちょっと音声がかっこのネットワーク悪かったみたいなんですけど、規制庁側でわかる刈り取りオノさんと書かれてきました。
1:48:05	1 番目と 3 番目が、来週、
1:48:12	先延ばしで、2 番目と 4 番目は出てくるということになります。
1:48:18	わかりました。ありがとうございます。すいません失礼しました。
1:48:22	はい。政調会でちょっと今野になったんですが 2 番目って、
1:48:27	出せるんですか、何か 2 番目こそ。
1:48:30	伊藤さん、関係者ですね、市田さん。
1:48:36	はい。
1:48:38	そうですね。

1:48:39	結果出さないで、
1:48:41	ベースのやつを出してもいいんです。
1:48:44	はい。ちょっと考えます。はい。
1:48:47	はい、規制庁、わかりました。鷺見学校のベースになって杉井ノダ業務部といういただけたんで、
1:48:53	それはもう自分たちでまずやればいだろうっていう世界の結果がお示しできるようなタイミングで合わせて、
1:49:00	はい。
1:49:01	はい、規制庁からわかりました。あとちょっとついでなんですが12月14日と、
1:49:07	この14日の関係、14日の午後にヒアリングを予定している。これって、
1:49:13	もうだから12月の会合では、今のその、
1:49:18	今日出そうとしていて月曜になりそうな資料に基づいて作ったものでやっていって、この中、14日のヒアリングの結果っていうのは、会合ではもう、
1:49:29	反映されず次のフェーズになるってそういうことですか。
1:49:34	人間でイシハラでございます。14日。
1:49:40	4日のあれですか。いや、SAの要求事項の整理、これは。はい。次のフェーズかと思ってたりしました。
1:49:50	はい。長笠間章の方に確認したときに、ちょっと曖昧になってしまって申し訳なかったんですが、5ページ目の、はい。関係性の話で、先ほど野瀬説明すべき項目の整理のグループ1の方に、
1:50:05	行く左側の線だけじゃなくて右側のピンクで囲っているところの別の設計項目の整理という三つ目のボックスグループ位置関係、これも、
1:50:17	12月8日提出12月14日日になっていたことも気になったんですが、このラインはもう設計項目の整理、説明すべき項目。
1:50:28	には使わない。
1:50:29	今回の会の
1:50:31	制度ではまずは、
1:50:33	もうちょっと切り離して考えるってそういうことなんですか。
1:50:36	はい。人間のイシダでございます。少なくとも、鷺見加古を抽出するということでいくと、上の二つのボックス、
1:50:46	これ、上の二つどころが一番上から飛んでるのは、最初の方のところ、設置法人との紐づけで要求事項の抽出はできるかなと思っていて、
1:50:57	この設計項目の整理っていうのは、最終的には、イメージがあるかもしれないですけど、

1:51:03	竜巻とかでやって添付 1、あれ 2、SAの赤赤文字で、設計項目、SAとしてはこんなものが追加であるのか、同じ設計項目の中に、
1:51:16	条件として追加されるのか、そういったことが整理できる形を目指してました。
1:51:22	それはイシカワの共通 12 の資料 23 がSAを込みにして作るタイミングにいる情報化ということで思っていました。
1:51:31	はい、規制庁クシダから、DBと一緒にSAのこの部分も説明していきますというような情報がこちら辺で整理されて、それがグループ一位で、どういうふうに展開されていくのかっていうことが見えてくるんですけど。
1:51:45	今回のそのグループ 1 はまだ、整理途中というフェーズで、介護にかけられるので、そこまで、その次のフェーズになってきますとそういうことです。はい。
1:51:56	はい、規制庁から理解しました。以上です。
1:52:00	ですけど、途中イシハラさんがあれって言ったように、
1:52:04	紐付けの情報がいかに後なんで、コスプレんだっていうのはさっぱりわからないので、その意味では、これは次のフェーズでというのは私は納得がいきません。
1:52:15	が、とりあえず、来週のヒアリングをして、その上で、会合までにどこまでやらなきゃいけないかを踏まえて整理をしていただいて、
1:52:26	このヒアリングも場合によっては少し前倒しをしてやって、
1:52:31	介護真島、
1:52:33	いう部分もあるんじゃないかなと思いますので、
1:52:38	そういうのも念頭に、来週、
1:52:41	あっさり。
1:52:43	はい、ミニシウラセット。
1:52:45	イシタ。
1:52:48	コサクですもう 1 点、今の回答で、SAは 12 月には入らないってことですか。
1:52:55	はい。乾ニシウラでございます。
1:53:03	いやいいですよ別にどちらにしても途中経過なので、そう言っていただければ一緒にやるって言ってたんだから次はしっかり入れてねって。はい。開放するだけなので。はい。そんな会話になるんじゃないかなという状況でございます。はい。
1:53:20	無理して変なのになってっていうよりは詐欺な気もするので、どのフェーズかっていうことさえはっきり言ってくれば、
1:53:33	はい。

1:53:35	はい。今回長寿命だしても、中途半端なことをあまりしたくないなっていうのもあって、資料に資料3って僕らがガチャガチャになられると思うわけわかんなくなる。
1:53:45	というのもあって1回今抜いてる状況にはなってるさ。
1:53:49	はい。古作です。それで言うと骨格として統合するようにこういう作業をしてますよ。はい。
1:53:56	現状はまだ統合させる手前のDBだけの整理で、一旦作り込んでいってここにSAを入れ込んでいきますっていう、途中経過報告。
1:54:07	いうので、説明できると思うので、それはある意味、
1:54:13	フェーズがクリアになる。
1:54:15	いいかなと。
1:54:20	はい。他、よろしいですか。
1:54:27	古作です。一応スケジュール表は、
1:54:32	最後の行、1月って書かれてまして、
1:54:38	一応先を見越した話、特に年末年始です。
1:54:42	いうところまで、
1:54:44	お話できるような、
1:54:46	んところを書いていただいていますね。
1:54:50	ええ。
1:54:51	藤。
1:54:54	この、
1:54:58	下、一行目2行目の、
1:55:01	フォロワー。
1:55:03	ここは秋のところは秋だと思っていいですか。
1:55:07	いうのは、そろそろクリアに、
1:55:11	しておいていただいて、
1:55:13	個人的には、
1:55:16	こんな感じで、はい。
1:55:19	いかせていただけるような、あと社内で作業期間として、
1:55:25	作業として
1:55:27	着々とできるように、ここまで確認しておきたいことみたいなものをしっかり取っていただいて、
1:55:33	作業、
1:55:34	ここ作業をやっていただくと、それぞれの都合に応じて作業ができるようにしていただくていうのが
1:55:42	原燃各社員においても、
1:55:45	精神衛生上いいんじゃないかなと。

1:55:48	皆さんも
1:55:49	お帰りになるところがあると思いますので、
1:55:52	はい。よろしく願い。
1:55:59	あ、
1:56:01	はい。
1:56:03	はい。乳井ニシダでございます。はい。項目、
1:56:09	だと思えます。一方の審査会合の説明方針のところは
1:56:16	12月の次の1月というには全体としてどうするか。
1:56:20	いうことを、共通中に、資料3、
1:56:24	だけではなくて資料4含めて、また全体の
1:56:28	シナリオをちょっと考えるということ。
1:56:32	その上でスケジュール感とか全体の進め方がないとイメージが掴めない。
1:56:37	思います。はい。
1:56:46	3-1のところはちょっと全体の作成、特に5ページの説明ずれ、
1:56:54	今回の12月の会合にかけるときの共通ジノステータ数と全体の数と苦痛設計過程理性項目ですね。
1:57:03	と、1月という、その関係をちゃんと整理をして、
1:57:07	どこまでが12月の段階でいえるのかということ審査会合の資料を追加いたしますので、その時に現実としてわかるように、
1:57:15	させていただくと。
1:57:16	ということかなと思ってます。はい。
1:57:19	一番の方でございますけどスケジュール関係、12月5日の後半にヒアリングを設置させてやっぱりちょっと我々の中でも、
1:57:28	それから13日の日ヤノを、会合資料の日ですけどもこれこの日がいいのかというお話をいただいておりますけどこれ8日の日を踏まえて、またスケジュールを検討することになって、承知してございます。以上でございます。
1:57:43	はい。
1:57:44	魚住。
1:57:46	絶対にと書いてあって恐縮ですが、資料4の関係は今日、お話いただいて、
1:57:52	を基に、全体の整備を進めていくということで、
1:57:56	大分、相変わらず、こうやってますみたいなことを書いてるところはやはり国境をしっかりとベースと全体のストーリーをちゃんとしていっていくと。
1:58:07	ということかなと思いますので進めていて、

1:58:11	あと 21 ページに示したパターン構成上資料 4 ノダン中での順番とか、項目のタイトルですね、これ同じように、
1:58:21	見て、イメージがわかるような、整理をさせていただければと。
1:58:26	はい。あとは次回資料 4、5、どういうふうに進んでるのかっていう状況がちゃんと説明できるような審査会合資料にしないといけないと思いますので、公開するということを考えたか、全体に
1:58:39	イメージが伝わるように、資料を構成して、
1:58:42	まず出していただければと思いますはい。
1:58:47	はい。以上ですはい。
1:58:50	以上です。
1:58:51	何か確認事項とかありますか。
1:58:56	最後、全体通じてそこは何か、二次鉱物あります。
1:59:01	なければ、これで本日の
1:59:04	終了したいと思います。
1:59:06	ありがとうございました。わかりました。お願いします。